

交通局

【令和3年度 予算要求の経営方針】

交通局は、「第3次北九州市営バス事業経営計画」に基づき、様々な取り組みを着実に実行し、安全・安心な運行の確保と利用者サービスの向上に努めるとともに、今後とも健全経営を維持しつつ、公営バス事業者として、市民の生活を支える足としての重要な役割を果たしていきます。

交通事業会計要求総額 2,175百万円
(対前年度 △3.0%)

収益的収入		2,096百万円
収益的支出		2,015百万円
差引		81百万円
単年度資金収支		19百万円

【要求の基本的な考え方】

●安全で安定した交通サービスの提供

バス事業を支える根幹である人材の確保・育成や老朽化した車両の計画的な更新など適切な運行体制を保持し、交通事業者として最も重要である安全な交通サービスを将来にわたって安定的に提供します。

また、大型自動車第二種免許保有者が減少している中、全国的な課題である運転者不足に対応するため、運転者数の確保に努めながら、運行の効率性を高めます。

●誰もが安心して快適に移動できるサービスの提供

本市においては、少子高齢化・人口減少が重要な課題となっており、子どもから高齢者まで、また障害の有無にかかわらず、誰もが安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいます。

そうした中、市営バスは、市民の生活の足として、誰もが安心して快適にご利用できるよう、お客様のニーズを的確に把握し、サービスの充実に取り組めます。

●経営基盤の強化

新型コロナウイルス感染症によるバス利用状況への影響が先行き不透明な中、将来にわたり、安定した事業経営を行っていくためには、経営基盤の強化が必要不可欠です。

「赤字体質脱却」に向けて、支出面においては、徹底して事業効率を高めるため、抜本的な運行システムの整理を行うとともに、事務の効率化を図り、経費削減に努めます。

また、収入面においては、事業収入の根幹である乗合収入を確保するとともに、貸切・受託事業等の附帯事業の増収を図り、収益性の向上を図ります。

※ 公開時点での予算要求の内容であり、令和3年度に実施することが確定しているものではありません。